

高来図書室だより

2023年 9月号 NO.204

諫早市立高来図書室
〒859-0117
諫早市高来町峰19-1
(高来西ゆめ会館内)
TEL 0957-32-2395
開室時間 平日午前10時～午後6時
土日午前 9時～午後5時



虫の声も心地よく、朝晩は秋の気配を感じられるようになりました。猛暑となった今夏に、高来図書室では「押し絵本大賞」を実施しました。その投票結果を発表いたします。



押し絵本大賞 決定!

🏆1位🏆 「めっきらもっきらどおんどん」
長谷川摂子/作・降矢なな/絵 5票

2位 「11ぴきのねこ」馬場のぼる/著 4票

3位 「はなびのひ」たしろちさと/作・絵 2票

// 「三びきのやぎのがらがらどん」マッパ・ブランチ/絵・瀬田貞二/訳

// 「もりのとしょかん」ふくざわゆみこ/作

// 「このあとどうしちやおう」ヨシタケシスケ/作

// 「チャーリー、こっちだよ」キャロ・レイ/作

// 「ぎょうれつのできるアイスクリームかきごおりやさん」ふくざわゆみこ/作

// 「映画すみっコぐらし とびだす絵本とひみつのコ」俵ゆり/構成・文

以下1票「ぜったいにおしちゃダメ?」「ぼくのジィちゃん」「あかいくつ」「なつのおとすれ」
「どろんこハリー」「しゃっくりがいてつ」「おふるだいすき」「わたし、くわがた」
「ちいさいちいさいおばあさん」「恐竜トリケラトプスとあくまのもり」「ひみつのさくせん」ほか

🏆人気作家No.1🏆 ヨシタケシンスケ さん

🏆人気シリーズNo.1🏆 あきやただし作「へんしんシリーズ」

次点「くすのきだんちシリーズ」「ノラネコぐんだんシリーズ」

🏆図書室員感涙コメントNo.1🏆 「としよしのぜんぶのえほんがだいすき」

投票いただいたみなさま、ありがとうございました。

<夏休みにこども向け講座を2つ開催しました>



新聞ちぎり絵にチャレンジ!



新聞を上手くちぎるコツをおしえてもらい、
のりで貼るだけでなんと味わい深い作品に。
最後に消しゴム落款印を押して完成!



身近な生きものたんけんたい



身近な生き物について、クイズをしたりこんせきの匂いを嗅いだり、
骨や皮に触れたりと五感をつかって楽しく学びました。

9月のカレンダー

☆9月のおはなし会☆

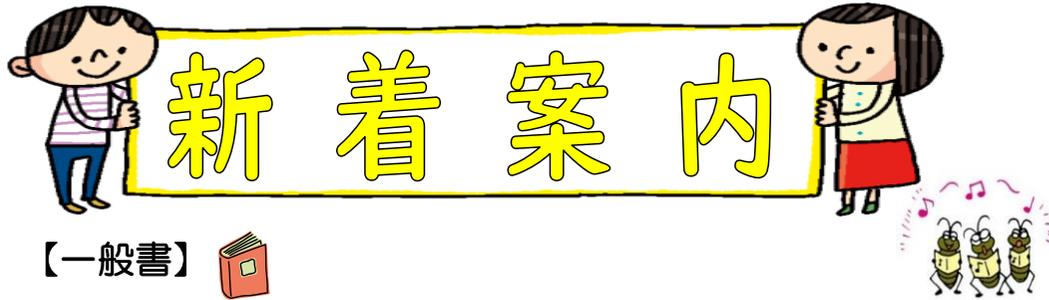
23日(土)午後2時～和室

です。お楽しみに♪



	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒

☒:休日 ☒:おはなし会



【一般書】

『カモナマイハウス』 重松 清／著（中央公論新社）
 不動産会社で空き家メンテナンス業に携わる孝夫。ある日、妻・美沙の実家が、気鋭の空間リノベーターによる「空き家再生策」の標的になり…。空き家をめぐる、家族の絆の物語。『婦人公論』連載を改題、加筆修正。

『天災ものがたり』 門井 慶喜／著（講談社）
 我々の祖先は、巨大な自然災害にいかに立ち向かい、生き抜いてきたのか…。武田信玄が、日本近世の防災上の出発点となった堤防を造るまでを描く「一国の国主」など全6篇を収録する。『小説現代』掲載を単行本化。

『自然知能』 外山 滋比古／著（扶洋）
 人間は生まれながらにして自然知能を持っている。キカイの人間になりたいのなら別だが、人間らしい人間として生きるには、持って生まれた自然知能を高めてはならない。「思考の整理学」で知られる著者が遺した幻の一冊。

『可燃物』 米村 穂信／著（文藝春秋）
 連続放火事件が発生し、県警葛班が捜査に当てられるが、容疑者を絞り込めないうちに犯行がびたりと止まってしまふ。捜査は行き詰まるかに見えたが…。葛警部の鮮やかな推理が光る全5編。『オール読物』掲載を単行本化。



その他の新着本

- ❁ 『前の家族』
- ❁ 『やさしい・かんたんプレゼンテーション』
- ❁ 『写真整理で人生整理』
- ❁ 『ニジンスキーは銀橋で踊らない』
- ❁ 『勉強しない子に勉強しなさいと言っても、ぜんぜん勉強しないんですけどの処方箋』
- ❁ 『色鉛筆で写真のような絵が描けるようになる本』
- ❁ 『食堂いちじくの精進おかず』
- ❁ 『韓国料理研究家ヒゲ先生の愛情キムチ』
- ❁ 『悪い姿勢は天井を見つめて治しなさい』



【児童書】



えほん 『ねぞうプロレス』
 ひらぎ みつえ／作・絵（教育画劇）

今夜も「ねぞうプロレス」の時間がやってきました。選手は川の字に寝ている3人の親子。ふとんトンネル、ミラクルブリッジ。つぎつぎ繰り出されるキメキメの技！子どものねぞうをプロレスに例えた、笑顔あふれる家族絵本。

よみもの 『放送委員はにんきもの』
 小松原 宏子／作、あわい／絵（ほるぷ出版）

ひとを楽しませるのが得意のピョンタは、4年1組のムードメーカーにとどまらず、学校一の人気者。放送委員になったピョンタが担当するお昼の放送が、つまらないわけがない…はずだったけど？「昭和の香り語辞典」も収録。

いきもの 『ようこそ！虫のぬけがら博覧会』
 森上 信夫／写真・文（少年写真新聞社）

必ずぬけがらを残す昆虫。どこでどんなぬけがらが見つかるのか。トンボ、セミ、タガメ、イモムシ・ケムシ、チョウ・ガなど、様々な昆虫のぬけがらを紹介。脱皮の様子、昆虫以外のぬけがらも掲載する。



その他のあたらしい本

- * 『こども調べ方教室』
- * 『かがくのふしぎ100』
- * 『最強恐竜超図鑑』
- * 『ごめんねでてこい』
- * 『クマノミのおとうさん』
- * 『飼えたらすごい生きもの図鑑』
- * 『夜空をおもいきり楽しむ本』
- * 『わたしに似合う最高にかわくなる色のルール』
- * 『わるテリアとするドッグ』
- * 『おふろそうじきんぎょたい』